

広報

まほく

3

2026
令和8年
No.245

March



消防総合訓練

広報きほく3月号

今月の表紙 Front cover

CONTENTS

- 02 目次 / 今月の表紙 / #パシャリとキホク
- 03 職員募集
- 04 令和7年12月議会定例会
- 11 令和7年度紀北町議会議員管外視察
- 12 スポーツ少年団募集
- 13 カモシカによる幼木等食害の対策 / 紀北町 デジタル瓦版
- 14 Kihoku Playback
- 16 暮らしの情報
- 18 けんこうの広場
- 20 図書室だより
- 21 戸籍の窓
- 22 にじいろスマイル



消防総合訓練

赤羽中学校で火災を想定した消防総合訓練が行われました。迅速な避難、通報模擬訓練に加え、消火器や屋外消火栓を使った放水などを体験。校内消防設備を確認し、生徒たちは「もしも」のときの行動を真剣に学んでいました。

広報きほく × Instagram 連動企画

#パシャリとキホク

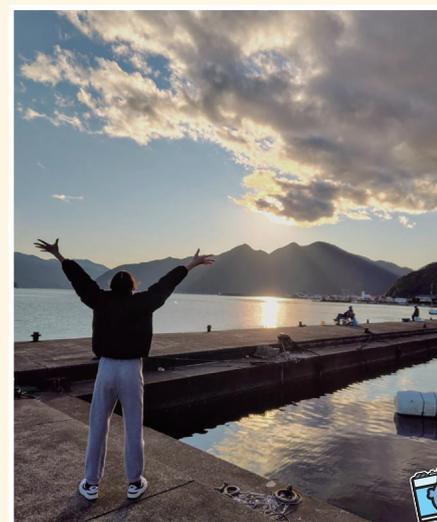
皆さんの写真を広報きほくで紹介します!
投稿写真から数点を選び広報きほくに掲載します。皆さんの投稿をお待ちしております。

01 町広報公式Instagram「kihoku_koho」をフォロー!!

KIHOKU_KOHO

02 紀北町で写真を撮影!

03 「#パシャリとキホク」と「#撮影場所」をつけて投稿をフォロー!!



(1月中の投稿写真から選びました)

今月の写真

@y.okumura.167
 引本港



【問い合わせ】 本庁企画課 Tel(46) 3113

Instagramに「#パシャリとキホク」をつけて投稿いただいた写真から毎月数点を選び、翌々月発行の広報きほくに掲載します。どなたでも参加OK! 投稿をお待ちしています!



紀北町会計年度任用職員募集 (4月1日採用予定)

▷職種および採用予定人員

島勝浦地区活性化対策支援員・・・1名

▷応募資格および要件

- 地方公務員法第16条(欠格事項)に該当しない方
- 町内に居住している方または居住できる方
- 基礎的なパソコン操作ができる方
- 普通自動車運転免許を所有している方
- 体験型イベント交流施設『けいちゅう』を拠点として、住民の集いの場づくりや、イベントの開催、また地区の活性化支援に取り組める方

▷応募期間

3月3日(火)～17日(火) ※土・日曜日を除く
午前8時30分～午後5時15分

▷試験日時

3月24日(火)午後1時～

▷会場

紀北町役場2階201会議室

▷試験内容

作文試験・面接

▷提出書類(各1通)

1. 申込書兼履歴書
2. 普通自動車運転免許証の写し

※1の様式は、本庁商工観光課および海山総合支所産業建設室で交付します。

※業務内容など詳しくは、本庁商工観光課および海山総合支所産業建設室で交付する募集要項をご覧ください。



問い合わせ・書類提出先 本庁商工観光課 TEL (46) 3115



荷坂やすらぎ苑組合 会計年度任用職員募集 (4月1日採用予定)

▷募集職種

現業職員(施設管理・火葬業務など)

▷勤務場所

荷坂やすらぎ苑(大紀町大内山1451番地5)

▷任用期間

4月1日～令和9年3月31日 ※更新制度あり

▷応募資格および要件

- 普通自動車運転免許を有する方
- 地方公務員法第16条(欠格条項)に該当しない方

▷応募期間

3月2日(月)～19日(木) ※土・日曜日を除く
午前8時30分～午後5時15分

▷試験日

3月下旬ごろ

▷試験内容

書類審査・面接審査

▷提出書類

募集要項をご確認ください。

※募集要項は本庁環境管理課・海山総合支所福祉環境室・大紀町役場環境水道課・大紀町役場各支所にて交付します。



問い合わせ・書類提出先 〒519-2703 度会郡大紀町滝原1610番地1 大紀町役場環境水道課 TEL 0598(86)2245

樋口泰生 議員

紀北町県道長島港線 (紀伊長島地区松本) の拡幅工事について

問 ①進捗状況と今後のタイムスケジュールをお聞きします。

②地域の方から町に対して、課題などの意見は出ていますか。

③この県道事業に関連する町の負担はありますかお聞きします。

④この県道に並行して堤防がありますが、途中から低くなっている点についてお聞きします。

⑤きほく燈籠祭や年末さいながしま港市の際は、たいへん交通量が多くなりますので、早期実現に向けた町長の熱量をお聞きします。

答 町長 ①令和7年度は第2工区の建物調査を実施していますが、用地買収、建物補償は多額の予算が必要となることから、工事完成に至るまでは相当な時間を要すると思われまます。本町としては、県に

対し、しっかりと予算の確保を

要望していきたく思います。
建設課長 ②2車線化してほしいとの要望をいただいております。町から県へ伝えてまいります。

③町の負担金はありません。

④港湾側と河川側とは求められる安全基準が異なるなどの理由から、連続する堤防であっても区間ごとに必要な高さが違う

ことがありと県から説明を受けています。また、安全面については、直ちに修繕が必要なひび

割れなどはないとのことですが、

町長 ⑤熱意を持って取り組んでおり、現状の交通の安全・安心も確保し、進めていただきたいと県に要望しています。

紀北町保育園運営について

①出生数減少による影響で人口減少傾向に拍車がかかっている現状認識について、町長の見解をお聞きします。

②子ども・子育て支援事業計画の中で、「民間保育園に対する運営費補助の支援」とありますが、十分な支援ができていますか。

③保育ニーズの多様化への対応

について、病児保育に関する町長の認識をお聞きします。

④保育園施設の老朽化について、最近行った補助をお聞きします。

⑤保育人材の定着と確保に関する町の対応をお聞きします。

⑥国が示すICT化について、保育園ではどのようなことが求められているのかお聞きします。

答 町長 ①未婚化や晩婚

化、経済的な負担の大きさなど要因は複合的にあると考え

ています。

福祉保健課長 ②町の補助は、保育所運営費補助金や保育所地域活動補助金があります。

町長 ③制度的には、町内では行っていないですが、状況に応じて受け入れていただいている

保育園もあるかと思えます。

④令和6年度に上里保育園改築

工事を実施し補助を行いました。

福祉保健課長 令和5年度は、

ひがし保育園の外壁塗装工事などへの補助を行っています。

町長 ⑤県のマッチング事業

などを利用していただいているのが現状です。

《 令和7年12月定例会 》

12月定例会は、12月9日から19日までの11日間の会期で開催されました。今回の定例会では、広域連合議会議員の選挙の議会提出案件2件、人事案件や補正予算などの町長提出議案18件、報告2件を審議しました。

12月9日の開会日には、広域連合議会議員の選挙が行われたあと、人事案件2件を同意し、その他の議案について提案説明および内容説明、各議案に対する質疑が行われ、各常任委員会に付託しました。

16日、17日には、8名の議員が一般質問を行いました。

最終日の19日には、付託された議案に加え、9月定例会で継続審査となっていた令和6年度決算認定5件について、各委員長から審査の経過と結果の報告、質疑、討論が行われ、議案16件と発議1件、追加議案1件を可決、決算を5件認定して閉会しました。

⑥国は、保育の計画・記録、保護者との連絡、登降園管理などの業務、実費徴収のキャッシュレス決済などを補助対象としています。

紀北町の森林環境の現状と運営・整備について

①J・クレジットについて、本年度の実施内容と今後の取り組みをお聞きします。

②林道野又越線の進捗状況と、県の事業にはなりますが、紀北町側の工事は本町の業者が受けられるよう尽力いただきたいと思いますが、いかがですか。

③森林経営管理制度の運用について、森林環境譲与税などの関連性も含め、今後の取り組みをお聞きします。

④林業の将来像について、町長の見解をお聞きします。

答 町長 ①令和8年3月ト計画書の認定を目標としています。創出できたクレジットを毎年全て売却できた場合、年間約4,700万円の収入を期待

しています。

②現在の進捗状況は、89%です。

農林水産課長 本町側の工事については、地元業者も入れて入札していただけたら、関係者との交渉などもスムーズにいくのではないかと考えています。

町長 ③森林所有者の意向などを確認し、令和5年度より私有林の間伐を実施しています。この事業の財源として、森林環境譲与税を活用しています。

④林業は育つにも時間がかかり難しい業種ですが、森林環境譲与税も使いながら、積極的に林道の整備などもやっていきたいと思えます。

脇昭博 議員

老人ホーム赤羽寮改築について

問 ①現在、養護老人ホームと特別養護老人ホームは、町が設置および運営までを行っています。養護老人ホームは、自治体が設置すると老人福祉法で定義されています。ま

た、入所も、自治体の審査と措置により決定することになっていきます。現在赤羽寮の養護に入居されている方は、定員50名に對して17名と、入居率は35%と低く、全国平均でも8割程度になっていいると思われます。先日の町政経営の基本方針で、養護老人ホーム赤羽寮の改築について検討を重ね、事業を進めていくと話されましたが、公共サービス施設として町に必要不可欠な施設なのかを町長にお伺いします。

②現在の養護老人ホームを改築する際の国の補助は、定員1人当たり330万円ほどですが、最低基準の20人定員の施設を想定すると、最低でも500㎡程度の面積になります。現在の建築費から考えると、2億5千万円以上が必要となり、補助金を除いた町の負担は1億8千万円以上になります。一方、赤羽寮は、昭和46年建設ですが、大規模に改修すれば、まだまだ使用可能です。現在の基準に合わせる改修工事の場合で、物価高騰を考慮し、改修工事を1.6倍の25万円としても500㎡の工事は1億2千万円ほどとな

り、3,300万円ほどの補助金が期待できますので、町の負担は8,700万円で済みます。大規模改修や利用されていない学校の改修も視野に入れた検討も行うべきだと考えますが、町長の考えをお伺いします。

答 町長 ①養護老人ホームは、行政が責任を持つて、最後まで町で過ごすことができることを担保できる貴重な存在であると認識をしているところです。

②改築に向けては、高齢者数の動向、ニーズ、既存の他施設とのバランスのほか、建築の工期や財源など、大規模改修も全てをゼロベースで検討していきたいと思っています。

小中学校のプール施設と授業について

問 ①町内の小学校7校のほとんどは、年に9回程度の水泳授業を1年生から6年生まで目標を立て授業をされています。いちばん古いプールは昭和38年建設で、62年たっています。ほとんどが昭和40年代に建設され、50年以上も経過して

います。プールの維持管理には結構な金額と清掃などの労力が必要となります。現在、小学校でプールの維持管理に係っている金額についてお伺いします。

②小学校の水泳授業は、夏場の気温上昇で屋外プールが使用できないことがありますが、町所有の屋内温水プールなら年間を通じて授業が可能で、熱中症の心配もありません。町の児童数は来年7校で360人ほどです。ぜひ町でも取り入れるべきだと考えます。また、紀北健康センターは、小学生が一般利用できないプール、また、日曜日、祝日は休館日、夏季も休館ありは日本全国で紀北健康センターだけだと思いますが、小学生の利用と休館日についてお伺いします。

答 教育長 ①安全性を維持するためのコストも含め、維持管理に係る費用は、令和6年度実績ですが、全ての小学校の水道料金、修繕工事、全てを含めて、472万8,116円となっています。中学校も、令和6年度実績ですが、合計314万7,966円となっています。

います。

町長 ②紀伊長島地区と海山地区は高速でも20分以上離れているので、学校での施設を利用しながら、今後の授業も考えていきたいと思っています。紀北健康センターで子どもたちが泳ぐには、水泳教室を利用していただきたいと思っています。また、日曜日、祝日の利用は、指定管理者とも話し合いを進めているところでは。

太田哲生 議員

空き家対策について

問 現在、全国的に空き家は過去最大となっており、本町においても人口減少と超高齢社会により、空き家、農地の耕作放棄地、山林の放置林はどんどん増加しています。特に空き家は、地震、津波、火災が起きたとき、被害を大きくする可能性があるため、可能な限り撤去し減らすことが必要です。火災が起きたとき、手入れの行き届かない空き家は、庭の

草木も含めて火が移りやすく、建物の傷みは、飛び火で延焼しやすくなっています。空き家が多い木造住宅の密集地はひとたび出火すれば、被害が一気に拡大する怖れがあり、行政による抜本的な対策が必要です。このことから、空き家の解体補助金の創設が必要と考えます。まず、

空き家解体補助金交付規則を制定して交付基準を明確にし、補助金を交付することです。この補助金は、有効期間を設定する時限立法とし、5年ほどで区切るのがよいと思います。財源としては、土地開発基金の活用です。土地開発基金は約2億円あり、合併以後あまり使用しておらず、これからも使用することがないと思います。土地開発基金条例を廃止し、土地開発基金を一般会計の財政調整基金に繰り入れるのがよいと考えています。

次に、住民の方からの土地などの寄付について、行政として昔からあまり受け付けていませんが、基準を明確に定め、これからは受け付けるべきです。全国的に放置された財産が増加しています。地方において人口減

少はさらに進み、社会がどんどん変化していくと思いますが、これからの対策について、町長の考えをお聞きます。

答

町長 空き家の問題に

ついては、基本的には所有者などの責任において対応していただくことを理解していたりしながら、対策を進めているところでは。本町の取り組みとしては、広報紙や行政放送、固定資産税納税通知書にチラシを入れるなど、空き家などの適正管理についてお願いをしています。空家等対策計画の取り組みにおける管理不全空家等の解消については、所有者などに対し通知などを行い、適正な管理や除却を促しています。本町では、昭和56年5月以前に建てられた木造住宅で、耐震診断の結果、倒壊する可能性が高いと診断された住宅を対象とした木造住宅解体工事の補助を実施しており、限度額の上限の増額や募集件数を増やしています。また、除却制度については、国の支援として、空き家対策総合支援事業がありますが、この事業を活用するためには、空家等対策計画と空き家対策総合実施計画の

策定が必要となり、対象施設が空家住宅などの場合、「公共・公益施設用地等の地域活性化のため計画的に跡地利用されるもの」という要件などがあります。本年度、空き家等対策支援事業において、空き家実態調査を行っており、その結果を基に今後の空き家対策を進めていかなければならないと考えています。本町においても、近隣市町の状況を踏まえながら、空家等の補助制度の創設に向けて前向きに検討していきたいと思えます。紀北町土地開発基金については、合併後の平成18年度に松本公園用地の購入に活用した以外は活用しておらず、現在、基金残高は約2億円あります。土地開発基金条例の廃止については、しっかりと検討していきたいと思っています。

住民の方からの土地や家屋などの寄付の申し出については、本町の施策遂行に必要なものでなければ、基本的にはお断りしています。その大きな理由としては、草刈りなどの維持管理費がかかることや、特に家屋においては、状態によって解体する必要がある、大きな予算を伴うため、受け入れは難しいものと考えています。周辺環境などを踏まえてしっかりと検討し、将来的に町民の福祉や防災などに役立つのであれば、これまでどおり寄付を受けていきたいと考えています。

岡村哲雄 議員

デジタル（スマートフォン等）による住民サービスの向上について

問

①町長は、「全ては住民目線で、全ては住民とともに」をモットーに、デジタルによる利便性向上を進めるという方針も出していますが、このデジタルによる利便性向上を進める施策の狙いと、これまで住民のデジタル活用能力向上のため、町は何をしてきたのか。そして、今後何を進めていくのか町長にお伺いします。

②地域ごとに地元のスマホ活用支援員を育成し、公民館などで定期的に相談できる体制やス

マホ活用支援員養成講習を開くことについて町長の考えをお伺いします。

答 町長 ①これからは、DXの活用なくしては行政や住民へのサービスが不足してくるのではないかと考えていますので、住民の皆さまにご不便をおかけしないように、DX、ICTを活用していくことが必要だと考えています。これまで住民のデジタル活用能力の向上は、スマートフォン活用支援を行っているです。新たなアプローチとして、大学生が高齢者へのヒアリングを通じて、スマートフォンを活用して電子申請などを利用しようと思うのかといった住民の心理や阻害要因の分析を行っていただきます。

②身近な人が身近な場所で教えるような地域でスマホ活用の支援員をぜひやっていくべきだと思いますが、全体的にそういう支援員が広がっていただくことがありがたいと思います。

企画課長 国の事業として、スマートフォン講座の開催だけではなく、人材育成、支援員養成講座も含めた事業の動きがあり、情報収集などの連携はして

いきたいと考えています。

孤立する高齢者や不安を抱える住民への支援について

問 ①孤立する高齢者、不安を抱えている住民への支援ですが、支えたい方、支え

てもらいたい方をつなぐパイプのような仕組みを構築するの、行政の役割だと思っておりますが、町はどのような支援を行っているのか、どのような見守り施策を今後考えていこうとしているのかお伺いします。

②行政の見守りに関しては、地域包括支援センター、社会福祉協議会、地域のボランティアの連携が必要だと思っております。現在の包括や社協などの連携状況と今後の方向性についてお伺いします。

答 町長 ①高齢者を見守るサービスは、町では、緊急通報装置の設置、配食サービスなどさまざまな支援があります。また、民間のサービスも

ありますので、複合的に利用していただくことがいいのではないかと思っています。

福祉保健課長 ②町の生活支援体制整備事業で福祉保健課、

紀北広域連合、地域包括支援センター、社会福祉協議会の地域支え合い推進員と情報共有、意見交換、連携強化の役割を持つ会議を開催し、地域の支え合いの仕組みの構築に取り組んでいます。

太陽光発電設備の設置規制について

問 太陽光パネルは、本町でもたいへん目立ってきました。再生エネルギーとしてのソーラー発電は重要なものだと考えていますが、将来のソーラー発電所の廃棄問題や景観への悪影響などを考えると、無秩序な乱立は問題だと思っております。銚子川や熊野古道の周辺に乱立すると、景観が損なわれる

ことを危惧していますし、廃棄のときも心配です。町が現在把握している設置状況、課題についてお伺いします。

答 町長 太陽光発電は、国のFIT制度自体に疑問を持っていますが、いちばん

は、太陽光発電が機能しなく

なったときに廃棄物の問題があると考えています。

企画課長 町内の太陽光発電施設は、家庭や事業用の自家消費型に加えて、農地や山林の開

発の許可を得た事業用の設備などさまざまなものが多数設置されています。町全体の設置状況については、現時点で全てを網羅的に把握はできていません。

大西瑞香議員

高齢者見守り支援について

問 ①高齢者等SOSネットワークについて、登録

状況と協力団体の状況、行方不明時の情報共有の方法と流れをお伺いします。また、名前や連絡先などのわかる二次元コード

シールなどの配布や居場所のわかるGPS機器購入補助の考えをお聞きます。

②認知症高齢者等個人賠償責任保険について、町で保険料を負担する考えはないか、町長の考えをお伺いします。

答 町長 ①登録者数は5名、協力団体数は7団体、

行方不明となった場合、SOSネットワーク台帳に登録がなければ通常の捜索となり、登録があれば警察や家族から福祉保健課に情報が提供され、ネットワーク構築機関に情報提供と捜索協力を依頼します。さらに、家族などの同意が得られれば、協力団体への情報提供や捜査協力、防災行政無線などを使った情報発信や消防団への捜索協力を依頼することになっていきます。また、シールやGPSは早期発見に有効な方法であると思

いますが、導入にはさまざまな課題もあると聞いており、今後勉強していきたいと思っております。

②いろいろな家庭の事情もあるかと思っておりますので、そういう保険にはそれぞれ家庭で入っていたいただきたいと考えます。

地域共生社会の実現に向けて

問 ①包括的な地域福祉の

推進について、町が描く地域共生社会像と、さまざまな相談に対応するための包括的相

談体制、生活困窮の方やひきこもりの方の社会参加支援、世代を超えた交流や多様な活躍の場づくりのための地域づくりに向けた支援についてお伺いします。

②介護、福祉現場の人手不足解消について、本町の現状と有償ボランティアの活用についてお聞きします。

答 町長 ①全ての住民が世代を超えて支え合い、住み慣れた地域で生涯にわたり、健康で生きがいを持って暮らせるやさしさを支え合う健康・福祉のまちづくりを進めていきたいと考えています。また、相談体制は福祉保健課で介護、障がい、子ども、困窮の相談支援体制を取っており、社会福祉協議会、県福祉事務所などと連携しています。参加支援は社会福祉協議会や特定非営利活動法人笑福と連携して実施しており、地域づくりに向けた支援やイキイキ教室などを行っています。

②就業年齢の延長や外国人労働者の雇用など、工夫して人材を確保していただいています。

福祉保健課長 事業所から有償ボランティア募集の意見を聞いたことはありません。

子どもまんなか社会
について

問 ①令和5年に子ども大綱が策定された、子どもまんなか社会とはどのような社会なのかお伺いします。

②子ども・子育て支援事業計画第3期の追加内容をお聞きします。

③政策実現における子どもや若者の意見聴取とその仕組みづくりについての本町での取り組み事例をお伺いします。

答 町長 ①全ての子ども

の権利が保障され、身体的・精神的・社会的に幸せな状態で生活を送ることができる社会です。

②生活困窮家庭への支援、子ども家庭センターの設置、多文化共生の推進などです。

③子ども・子育て支援事業計画第3期は中学校2年生の生徒の意見を聞いています。

教育長 第3次総合計画を策定するため、中学校3年生と小

学校6年生にアンケート調査を実施しました。

合併浄化槽の設置
に関する面積基準緩和

問 4人以下の世帯数が9割を超え、現在の基準では使用人数と設置する浄化槽の

人槽に大きな誤差が生じています。面積基準の緩和予定についてお聞きします。

答 町長 緩和については、許可権者の県にも相談し

ており、ほかの自治体の事例なども参考に前向きに進めていきたいと考えています。

近澤チツル 議員

子育てしやすい町を
めざして

問 ①町の学校給食の無償化は、物価高騰の中で、

全国の先頭を走ってきた施策で、今は全国的な動きになってきていますが、保護者の方々か

らたいへん喜ばしいと声が聞かれています。町に毎年要求しなくてもいいように、給食費無償化の条例化を引き続き求めますが、町長の考えをお伺いします。

②保育料は、現在3歳から5歳までは国が無償化を行っています。共働きの当たり前となった今、0〜2歳児も保育園を利用したいという声が高まっております。保育料はほんとうに重要な課題だと思えますので、町は今年に引き続き0〜2歳児の保育料無償化を進めていくべきだと思いますが、町長の考えをお伺いします。

③奨学金の制度は、現在、町では貸与型となっています。町でも地元に戻ってくるなどを条件に給付型の奨学金を創設するべきだと思えますが、町長の考えをお伺いします。

④介護保険は、制度開始から25年がたち、利用料や施設での居住費、食費の負担が重く、必要な介護サービスが受けられない人が増えてきています。年金から天引きされる保険料も上がるばかりで暮らしていけないという声が聞こえています。これ以上の制度の後退は許されませんが、この状況をどのように認識しているのか町長の考えをお伺い

答 町長 ①学校給食の無償化の継続は、今後、国・

県の動向を注視しながら、子育て世代への支援を検討していきたいと思っています。

②子育ての一助になるという考えですので、気持ちとしては0〜2歳児もやっていきたいと考えています。

安全安心の町をめざして

問 ①昨今、全国的に公立病院の赤字が続いて、深刻な経営危機にあります。尾鷲総合病院も例外ではありません。地域住民の医療を受ける権利を守るため、町も、コロナ禍以前に実施していた尾鷲総合病院への経済的支援を復活させるなどの政策を立てるべきだと思いますが、現状と町長の認識をお伺いします。

②介護保険は、制度開始から25年がたち、利用料や施設での居住費、食費の負担が重く、必要な介護サービスが受けられない人が増えてきています。年金から天引きされる保険料も上がるばかりで暮らしていけないという声が聞こえています。これ以上の制度の後退は許されませんが、この状況をどのように認識しているのか町長の考えをお伺い

いします。

③高齢者の移動手段を確保するのは、高齢者の健康や幸せな老後につながるたいせつな施策です。町でもより充実した敬老パスを実施すべきであると思いますが、町長の考えをお伺いします。

答

町長 ①尾鷲総合病院には救急医療体制事業の負担を行っており、休日および夜間の救急医療体制を維持していただいているところです。経営状態は知っていますが、支援に対しては慎重な対応も必要だと考えています。

②介護保険は、給付と負担のバランスが大事です。国・県・町で持っていますので、財源をどうするか無理をし過ぎると、今の子どもたちへの負担になりますので、よく国に考えていただきたいと考えています。

③高齢者が外出することで健康増進、社会参加、認知症、いろいろなことで福祉向上、フレイル予防にもなります。無料のパスは出せないにしても、ほかに何かないのか、考えていきたいと思っておりますので、ご理解願いたいと思います。

残土問題について

問

残土は現地に依然として積まれたままになっており、何の解決にもなっていない。この状況を町としてどのように認識しているのか、また、今後どのようにしていくと考えているのか、町長の考えをお伺いします。

答

町長 事業者本人には撤去を求めていくのはもちろんですが、今、検査庁に書類送検されているところですので、今後どうしていくか十分検討して、早期の撤去を期待しているところです。

原隆伸議員

紀北町における課題と現状の検証について

問

①上里の不法投棄の残土の撤去、原形復旧の措置命令について、現状と今後の取り組み、二度とこのようなことが起こらないような新条例制

定や条例整備の考えをお聞きします。

また、既存の1次産業に影響を及ぼす事業計画の抑止策としては自然と共生の町宣言の実効性の確保のための施策が必要だと思いますが、町長の考えをお聞きします。

②自然と共生の町宣言を生かしながら、少子高齢化の流れを緩やかにするため、1次産業、2次産業への産業振興策は急務であり、交付税や補助金を利用した活性化策を講じるべきです。また、集落支援員や地域おこし協力隊と協力して地域を活性化させ、移住・定住促進策を講じる必要があると考えますがいかがですか。

答

町長 ①現在、当事案については紀北町生活環境の保全に関する条例違反で9月19日に津地方検察庁に書類送検されており、検察で捜査がされている段階と思われます。盛り土については早期に撤去されるよう最大限の努力をしていきたいと思えます。条例については盛土規制法や県条例と整合性を図りつつ、隙間のない条例にしていきたいと考えています。

また、自然と共生の町宣言は

自然と共生しながら、町、住民、事業者、自然の景観と環境が生活と密接なものであるということとを深く認識して、自然環境を守るために宣言したもので、その趣旨に沿った活動をしながら、産業などの振興を図っていきます。

②本町では少子高齢化に加え、農業をはじめ、林業、水産業についてもたいへん難しく、収入を上げていくのはたいへん難しい状況です。そうした中、集落支援員4業務10名、地域おこし協力隊員5業務5名が活動しており、さまざまな角度から協力をいただきながらがんばっていききたいと思います。

観光産業への取り組み方について

問

観光産業は地域の特徴を生かし、安心・安全な来訪者に安らぎや潤いを与えて、より多くの来訪者にリピーターとなってもらうことよって成長する産業だといえます。紀北町の現状は来訪者に失望感を与えない取り組みができてい

るかお伺いします。

①古里温泉の断続的休業の実態について、経緯と原因、今後の対応策をお聞きします。

②来訪者に失望感を抱かせないための対策についてですが、来訪者が利用する公衆トイレで故障しているところがあります。また、遊歩道が崩れ、危険な箇所もありますが、対応状況をお聞きします。

答

町長 来訪者の立場に立つて、どのようにすれば喜んでいただけるか常々考えていますが、まだまだ至らないところがあるのも事実です。

商工観光課長

①古里温泉については、令和7年5月16日、湯船に浮遊物が浮いており、ろ過装置の弁を取り換えましたが改善せず、6月13日から休業となりました。その後、ろ材の交換や配管の洗浄などを行い、9月3日に営業を再開しましたが、循環ろ過機に不具合が生じ、9月6日、再び休業、施設の洗浄などの対策を講じ、10月22日に営業を再開しましたが、翌23日にお客さまが多く入ったあと、皮脂汚れのような浮遊物が多く発生したため、再び営業停

止としました。今後は過循環機能の調査や、今月19日には配管洗浄と源泉ポンプの更新工事を行う予定です。

②故障している豊浦神社のトイレは現在使用できない状況になっており、県で今後の対応を検討しています。また、熊野古道沿いの古里から道瀬に至るサボ道の崩落土砂については昨年度県で土砂を撤去しましたが、度々崩落しており、引き続き県に改善を要望していきたいと思っています。

西村友一 議員

紀北町の移住状況について

問 町の過疎を少しでも緩め、持続可能な社会を維持していくためには、町外からの移住者の増加が重要な課題であることから、次のことを質問します。

①これからの未来を見据えた人口ビジョンと施策などについてお聞きします。

②担い手不足や高齢化などにより閉業される事業者の方も多いため、町として考えている施策などがあれば教えてください。

③移住体験住宅「さほくコマツバラ」および紀北町移住希望者宿泊補助金の利用状況と、体験住宅を利用された方で移住につながった事例があれば教えてください。また、利用者に対し、農業体験などの移住体験プランの提案は考えているのかお聞きします。

④全国数ある市町村の中から選んで紀北町に体験に来た時点で、好印象を持っていたかというところを教えてください。そういった方を少しでも移住・定住につなげるために、ニーズの把握とアプローチはどのようにされているのかお聞きします。

⑤移住希望者に対して、空き家や職業の一覧、地域のルールなど、一目見て分かるようなPR方法などは考えていますか。

答

町長

①人口減少を防止することは難しいですが、少しでも緩やかにしていく施策が必要ではないかと考えています。県の統計では、令和6年度の東紀州地域の移住者149人

のうち、本町には8人が移住しており、そのうち生産年齢の方は7人となっています。

②各産業において、国などの制度も活用しながら事業を行っており、今後も事業者の方に寄り添った施策を行っていきたくと思っています。

企画課長 地域のお仕事コーディネーターとして、町内での仕事探しや担い手確保の課題解決をミッションとする地域おこし協力隊を募集し、活用を図ろうとしています。

③令和6年度の利用実績は、移住体験住宅が2件4名、補助金が2件3名です。直近3年間は、直接移住までつながったケースはありません。令和6年度は、町内の暮らし体験巡りや県の事業を活用した2泊3日の移住体験ツアーを開催しました。

④都市部での移住フェアなどに出向き、ニーズの把握と情報提供を行っています。

町長

⑤「紀北町で暮らそう」という冊子を作成しています。

新規就農について

問

高齢化や後継者不足による耕作放棄地は、紀北町のみならず全国的な問題となっていますが、本町には、獣害の防護柵や区画整理の基盤が整っている農地がたくさんあり、町の産業の底上げのためにも、少しでも多くの方に利用してもらいたいと考えています。このことから、次のことを質問します。

①直近5年の45歳以下の新規就農者がわずか3人であった原因などが分かれば教えてください。

②周りにイメージする農家がおらず、収入面など実際の数字が見えてこないことも農業が発展しない要因の一つであると考えます。新たにモデルケースを作り、移住者や町民の方に利用していただくような方向性も必要ではないかと考えますが、いかがですか。

③農業協同組合やほかの団体とは、どのような形で連携されているのかお聞きします。

答

町長

①労働環境の厳しさ、収入の不安定さな

ど複合的な課題によるものと考えています。

②事業を始めるための資金の確保や長期的に安定した収入につながるかなど、たいへん難しい問題もあり、町独自のモデルケースの開発は難しいのではないかと思います。

農林水産課長

③人材育成の面では、就農の相談があった場合、県や農業協同組合、農業改良普及センターの方を交え、ヒアリングを行っています。今後は農家の方を含め、就業につながるような体験メニューの開発なども必要だという認識はありますが、現在そこまではできていない状況です。



令和7年度紀北町議会議員管外視察

令和7年度の議員管外視察は、奈良県桜井市、奈良県広陵町、和歌山県有田川町を視察しました。

それぞれ下記の内容をテーマに、10月7日から9日まで2泊3日の行程で、議員13名、議会事務局職員3名、副町長、商工観光課長、福祉保健課長の計19名が参加しました。各視察先では、貴重なお話を伺い活発な意見交換が行われました。

【奈良県桜井市】 「少子化対策」について

愛の花咲くSAKURAIプロジェクト

桜井市では、結婚に関する悩みを気軽に相談できる仕組みを作り、地域の方と連携しながら、少子化、孤立・孤独対策を目指すプロジェクトを実施しています。



1日目：奈良県桜井市

少子化に向き合うことがカギであり、地域住民が互いに応援し合える結婚応援の機運を高めていくというお話は、たいへん参考になりました。

【奈良県広陵町】 「産業振興」について

靴下生産量日本一の町

地場産業である靴下産業は、生産量日本一になるまで成長しましたが、「広陵町＝靴下」というイメージがなく、ほかの産地と差別化できるような地域ブランド「広陵くつした」を確立し、プロモーションを展開しています。

町まるごと商品化

広陵町では、「中小企業・小規模企業振興基本条例」を制定し、その中核的な役割を担う機関として、一般社団法人広陵町産業総合振興機構「なりわい」を設立し、町の産業全ての



2日目：奈良県広陵町

「稼ぐ力」の上昇と町内の経済循環の活性化などを目指し、ふるさと納税の返礼品コーディネートや販路開拓、各産品のブランド化などの支援を行っています。

広陵ビジネスサポートセンター（まるごとBiz）

「お金をかけずに売り上げUP」を目指すオンラインの伴走型ビジネス相談所で、新商品の開発やSNSの活用など、事業者が無料で相談できます。

《議員の感想》

○紀北町の行政と産業界が一体となつて「振興のための施策・仕組み・計画を急がなければ」という思いが強くなりました。

○本町でも町内の産業をしっかりと支えていくための基本条例の制定に向け取り組んでいけるよう議会としても努力していかなければならないと感じました。

【和歌山県有田川町】 「森林資源の有効活用」について

森林整備の取り組み

有田川町では、手入れの行き届いていない森林について、山林所有者の意向を確認した上で、

市町村による直接管理や林業経営者への委託などを行い、森林を健全に管理する「森林経営管理制度」を活用して、森林整備を行っています。意向調査は、「親族の帰省時期（お盆）に送付」、「チラシの回覧」など工夫した結果、令和4年度実績で76%という高い回収率でした。また、切り捨て間伐への補助や木材の利用、木育の推進など、さまざまな取り組みを行っています。

《議員の感想》

○この研修を参考に、本町でも森林関係者のメリットが構築され、高齢化からの脱却と林業の魅力創出、地球環境の改善に寄与していくべきだと思います。

○本町も広大な森林を有しており、放置された場合の災害リスクなど、さまざまな事案が懸念されることから、早急な把握と整理が必要であると感じました。



3日目：和歌山県有田川町

スポーツ少年団募集

紀伊長島ミニバスケットボール教室

対象：年長児～小学校6年生の男女
練習日：月・水・木曜日（午後6時～7時30分）
 土曜日（午後1時～4時）
 ※月・木曜日は通常練習と合わせて、初心者コースも実施しています。
場所：相賀小学校体育館
会費：月額1,500円（保険料別途必要）
責任者（代表者）：宮原 久美 TEL090-4083-1727



紀伊長島少年少女空手クラブ

対象：年長児～中学校3年生の男女
練習日：月・金曜日（午後6時～7時）
場所：東長島スポーツ公園武道館
会費：月額2,500円
責任者（代表者）：橋本 陽一
 TEL47-4182、TEL090-1981-8074



紀北町剣道スポーツ少年団

対象：小学校1年生以上の男女
練習日：火曜日（午後6時30分～7時30分）
場所：船津小学校体育館
会費：年間800円（保険料）
責任者（代表者）：小林 利徳
 TEL31-0669、TEL090-7917-7229



海山クラブ（ソフトボール）

対象：小学校1年生～6年生の男女
練習日：土・日曜日、祝日（午前9時～午後5時）
場所：海山グラウンド
会費：月額2,000円（用具代・保険料など含む）
責任者（代表者）：井谷 雅史
 TEL32-2811、TEL090-1471-8553
事務局：奥村 仁 TEL32-1369、TEL090-2772-1725
 ※体験を希望される方はお問い合わせください。



紀伊長島少林寺拳法スポーツ少年団

対象：小学校1年生以上の男女
練習日：火・木曜日（午後6時30分～7時30分）
 水・土曜日（午後6時～7時30分）
場所：三浦会館（火・木曜日）
 東長島スポーツ公園武道館（水・土曜日）
会費：月額2,000円（保険料別途必要）
 ※保険料については年1回のみです。
責任者（代表者）：井谷 哲 TEL090-7024-4700



紀州熊野合気会紀北道場（合気道）

対象：小学校1年生以上の男女
練習日：月曜日（午後6時30分～8時）
 水曜日（午後7時～8時）
 土曜日（午前8時～9時）
場所：東長島スポーツ公園武道館（月曜日）
 海山体育館（水・土曜日）
 ※どちらかの場所だけでも参加できます。
会費：月額1,000円（保険料別途必要）
責任者（代表者）：喜多 正道 TEL090-8738-8951



問い合わせ

教育委員会本庁生涯学習課 TEL46-3125 海山総合支所教育室 TEL32-3905
 ※参加を希望される場合は、各責任者（代表者）などにお問い合わせください。

カモシカによる幼木等食害の対策

町では、昭和58年度から特別天然記念物カモシカによる幼木など食害の対策として、新たに植林を行う箇所国と県の補助金を活用し、防護柵を設置する事業を行っています。

防護柵の素材にナイロンネットなどを使うと、誤ってカモシカが絡まってしまったときに、外せずに死んでしまう事があります。素材に金網を使うことによって、絡まったときに外れるようにしています。

カモシカを保護するとともに、町の地場産業である林業を守り、促進するため、町内の小学校3・4年生児童を対象に「カモシカと林業の共生についての学習・現場見学」に取り組んでいます。

【問い合わせ】教育委員会本庁生涯学習課 Tel(46) 3125
海山総合支所教育室 Tel(32) 3905



紀北町 デジタル瓦版 (かわらばん)

Vol.3

役場へ行く前にスマホでチェック！ 「紀北町手続きナビ」

引っ越しや結婚、おくやみ…。人生の節目には、役場での手続きがたくさんあります。「何が必要なんだろう？」「どの課に行けばいいの？」と迷ったことはありませんか？ そんなときに便利なのが、「紀北町手続きナビ」です。

簡単な質問に答えていくだけで、あなたに必要な「手続き」や「持ち物」を案内してくれる、まさに「専属ガイド」のようなサービスです。

対応している五つの手続き

🏠 引っ越し 📍 結婚 🍼 出産 💔 離婚 🪦 家族が亡くなった

ここが便利！三つのポイント

- ✔️ **簡単な質問に答えるだけ！**「紀北町に引っ越してきた」「子どもがいる」などの質問に「はい」「いいえ」で答えるだけでOK。
- ✔️ **「持ち物」が分かるから安心！**「せっかく役場に来たのに、印鑑を忘れて出直し…」なんて失敗を防げます。必要な書類が一覧で分かります。
- ✔️ **「行くべき窓口」が分かる！**どの課に行けばいいのかが表示されるので、広い役場内でも迷わずスムーズです。

役場にお越しの前に、ぜひ一度スマホでチェックしてみてください。右の「QRコード」からすぐにアクセスできます。

【問い合わせ】本庁企画課 Tel(46) 3113



↑「紀北町手続きナビ」はこちらから



デジタル安心ひとくちメモ

「QRコード」ってなに？

街でよく見かける四角い模様。これは「QRコード(キューアールコード)」といって、スマホのカメラで読み取ると、特定のページへ連れて行ってくれる「魔法の扉」です。

長いアドレス(URL)を一字ずつ入力しなくても、カメラをかざすだけで一瞬で目的のページが開きます。ぜひ試してみてくださいね。

※「QRコード」は(株)デンソーウェーブの登録商標です。

美し国三重市町対抗駅伝練習会

1/18 大白公園

2月15日の本番に向け、紀北町代表選手が合同練習会で汗を流しました。



寄付贈呈式

1/16 役場本庁

本町出身で津市在住の東和生さんから、地域振興のための寄付をいただきました。贈呈式で東さんは故郷への思いを語られました。寄付金は町の活性化のためにたいせつに活用されます。



知事と町長の円卓対話

1/28 若者センター

三重県知事と町長の円卓対話が開催されました。トマト栽培施設の視察後、豊かな自然資源や熊野古道を生かした観光の価値向上などについて意見交換が行われました。



当日の様子は
こちらから



たこ揚げ

1/26 赤羽公園多目的グラウンド

紀伊長島幼稚園の園児がたこ揚げに挑戦。自作の絵を描いたたこをより高く揚げようと、走り方や糸の出し方を工夫しながら、元気いっぱいに楽しみました。



人権フォーラム

2/5 潮南中学校

4月に進学する小学校6年生と中学生が交流する潮南中学校区の人権フォーラムが開催されました。先輩との触れ合いを通じ、新入生が有意義な学校生活を送るための、安心と期待を育むきっかけづくりとなりました。



たいさば (たいさま)

2/3 長島地区

豊漁と商売繁盛を願う伝統行事。今年も「たいさば売って」と元気な声を響かせながら子どもたちが家々を巡り、袋いっぱいのお菓子和笑顔であふれました。



交流会

2/6 紀伊長島幼稚園

4月に新設されたばかりの、尾鷲市立「とちのもり保育園」との交流会が行われました。外遊びや給食を一緒に楽しみ、園内に元気な声が響き渡りました。



お知らせ

水道課

水道の検針業務に
ついてご協力の
お願い



2カ月に1回、偶数月に、水道メーターの検針業務を行っています。検針業務の妨げとならないように、メーターボックスの上には、自動車などの駐車、鉢植えなどを置かれないようにご協力をお願いします。

検針業務の際に漏水の疑いをお知らせすることがありますが、自宅敷地内（水道メーターより自宅敷地側）で漏水が発生した場合は、紀北町指定給水装置工事業者にご連絡いただき、修理をお願いします。修理などに必要な費用につきましては、使用者さまの個人負担となります。修理後は、速やかに工事業者を通じて減免申請の手続きを行ってください。

※指定給水装置工事業者は、町ホームページをご確認ください。

ホームページ
はこちらから



【問い合わせ】

本庁水道課
℡(47) 55000
海山総合支所水道室
℡(32) 3906

生涯学習課

ご存じですか
「スポーツ安全保険」

スポーツ安全保険は、スポーツだけでなく文化活動・地域活動・ボランティア活動などを行う団体も安心して活動ができるようにつくられた保険で、傷害保険と賠償責任保険がセットになっています。万が一の事故に備えて、ぜひご加入ください。

対象

4名以上の団体・グループ
保険期間 4月1日(水)～

令和9年3月31日(水)

※4月1日以降の申し込みは、

加入日の翌日から有効となりますが、終期は同じです。
※対象となる団体活動や掛け金・補償額など詳しくはお問い合わせください。



初めての
スマホ相談窓口

スマートフォンを買ったけれど、通話以外の機能がわからないなどのお悩みをお持ちの方を対象に相談窓口を開設しています。

※対応可能な相談内容は初歩的なことに限らせていただきます。

会場・日時

○生涯学習センター

3月11日(水)・18日(水)
午前10時30分～正午

○長島多目的会館

3月11日(水)・25日(水)

午前10時30分～正午
○東長島公民館

3月18日(水)

午前10時30分～正午
申し込み

生涯学習センター

℡(32) 3915

長島多目的会館

℡(47) 3996

東長島公民館

℡(47) 2229

※必ず前日までに申し込みをお願いします。



【問い合わせ】

教育委員会本庁生涯学習課

℡(46) 3125

海山総合支所教育室

℡(32) 3905

三重紀北消防組合

春季全国火災予防
運動のお知らせ

3月1日(日)から7日(土)

まで春季全国火災予防運動を実施します。本年度の全国統一防火標語は「急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし」となっています。これからも空気が乾燥し、

火災の発生しやすい時季が続きますので、火の元には十分注意して、火災を予防しましょう。

◎住宅防火

いのちを守る 10のポイント

《四つの習慣》

- ①寝たばこは絶対しない、させないこと
- ②ストーブの周りに燃えやすいものを置かないこと
- ③コンロを使うときは火のそばを離れないこと
- ④コンセントはほこりを清掃し、

有料広告

昨年4月から相続登記申請が義務化されました！

相続・贈与等の登記全般や官公署提出書類作成

庄司司法書士・行政書士事務所

お気軽にご相談ください！司法書士・行政書士 庄司純史

電話：0597-25-1781 携帯：090-3389-1330

事務所：尾鷲市宮ノ上町1番30号（尾鷲神社の近く）

不必要なプラグは抜いておきましょう

《六つの対策》

- ① 火災の発生を防ぐために、ストーブやコンロなどは安全装置の付いた機器を使用し、感震ブレーカーを備え付けましょう
- ② 火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、およそ10年を目安に交換しましょう
- ③ 火災の拡大を防ぐために部屋を整理整頓し、寝具、衣類およびカーテンは、防炎品を使用しましょう
- ④ 火災を小さいうちに消すために、消火器などを設置し、使い方を確認しましょう
- ⑤ お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておきましょう
- ⑥ 防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行いましょ



【問い合わせ】

三重紀北消防組合予防課
TEL(22) 2051

紀北広域連合

議会報告

令和7年12月23日(火)に開催された令和7年第3回紀北広域連合議会定例会において、委員選任2議案、条例改正4議案、一般会計および、介護保険事業特別会計などの補正予算3議案が可決され、令和6年度紀北広域連合決算が認定されました。

【問い合わせ】

紀北広域連合
TEL(35) 0888

紀北医師会

住民公開講座
開催のお知らせ

糖尿病に関する治療や管理方法をテーマに、住民公開講座を開催します。入場無料、事前申し込みは不要です。ぜひご参加ください。

日時 3月12日(木)

午後6時30分
場所 生涯学習センター
※当日、館内出入り口は海山公民館側からのみになります。正面玄関からは出入りできませんのでご注意ください。

内容
特別講演「名前まで進化する糖尿病の管理及び治療〜糖尿病からダイアベティスへ〜」
講師
伊勢赤十字病院 糖尿病・代謝内科 健診センター長 村田和也氏
共催 紀北医師会、尾鷲歯科医師会、紀北薬剤師会、紀北町、尾鷲市、紀北在宅医療介護連携支援センター

【問い合わせ】

紀北医師会
TEL(22) 2857
本庁福祉保健課
TEL(46) 3122



ふれあい広場マンドロ

「書と陶芸
合同作品展」開催

ふれあい広場マンドロで企画

展「書と陶芸合同作品展」を開催します。個性豊かな作品をぜひご覧ください。



日時 3月20日(金・祝)
午前9時〜午後4時
3月21日(土)
午前9時〜午後3時

場所 ふれあい広場マンドロ
1階ロビー

内容 教室の生徒有志による陶芸・書道の作品展
特別参加
○絵画(鈴木里子氏)
○ポタニーペインティング

【問い合わせ】

ふれあい広場マンドロ
TEL(47) 1081

有料広告

地域の皆様の笑顔と健康のために

しょう えい どう
勝栄堂薬局
1万円以上 無料配送いたします
三重県多気郡大台町佐原525-1 TEL 0598-82-3153

相談薬局	疲れ・健康維持	動物生薬
処方せん受付	不眠・不妊・腸活	各種健康食品

水環境を守る
浄化槽法定検査

浄化槽法定検査とは、浄化槽が適正に設置・維持管理され、本来の浄化槽の機能が十分に発揮されているかどうかを確認する検査です。浄化槽をお使いのみなさまは、年1回の受検が法律で義務づけられています。

三重県知事指定検査機関 一般財団法人
三重県水質検査センター
059-213-0707

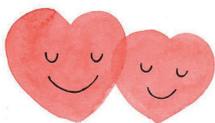


3月は「自殺対策強化月間」です

春は、進学や就職、異動など、生活環境が大きく変わる季節です。希望への期待が高まる一方で、環境の変化に対する不安やストレスもたまりやすく、こころのバランスを崩しやすい時期でもあります。町では、毎年3月の自殺対策強化月間に合わせ啓発活動に取り組んでいます。

紀北町は県内でも自殺死亡率が高い地域という現状があります。自殺の多くは、衝動的ではなく、「もう生きられない」「死ぬしかない」と心理的に追い込まれた末の行動であり、その背景には人間関係、職場関係、家庭の問題などさまざまな社会的要因が関係しています。自殺に追い込まれる状態は誰にでも起こる可能性があります。自殺は個人の問題ではなく、社会の問題です。誰も自殺に追い込まれることのない町を目指し、みんなでたいせつな人のいのちを守りましょう。

たいせつな人のいのちを守るには？



その他相談窓口はこちらから

〇変化に気づく
様子がいつもと違う場合、「眠れとん？」「どうしたん？」など声をかけましょう。

〇じっくり耳を傾ける
「元気がないもんで心配しとんさー」など心配していることを伝えましょう。

〇つなぐ
早めに専門家に相談するように促しましょう。

〇見守る
温かく寄り添いながら、じっくりと見守りましょう。

相談窓口は？
よりそいホットライン
TEL(0120) 279338
(24時間対応)

定期的に
ご自身やご家族の
「こころの状態」を
チェックしましょう

町ではメンタルヘルスチェック「こころの体温計」を導入し、パソコンや携帯電話で簡単な質問に答えるだけで、ご自身やご家族などのこころの状態がわかり、早めのこころのケアをすることができます。ぜひ、ご活用ください。

「こころの体温計」はこちらから



Information

町内の「健康」に関するイベントや、最新情報をお届けします！

『きほく活活体操 & ちょい減らし+10』
ワンポイントアドバイス
『リニューアル！』

ケーブルテレビの行政放送チャンネル（123チャンネル）では、「きほく活活体操」や気軽に取り組める筋力トレーニング・歯周病対策などの口腔ケア・減塩などの食生活についてのワンポイントアドバイスを送っています。テレビを見ながら健康づくりに取り組めるプログラムを紹介していきますので、ぜひご覧いただき、皆さまの健康づくりに役立ててください。

- 【放送時間（1日3回）】
- ①午前8時～9時
 - ②午後3時～4時
 - ③午後8時～9時





今月のチャレンジCooking!

今回は野菜と一緒に食べられる魚料理の『アクアパッツァ』を作ってみましょう。



アクアパッツァ

【1人あたり】 エネルギー……211kcal たんぱく質……24.4g
脂質……8.0g 炭水化物……7.4g 塩分……1.9g

アクアパッツァは、ナポリ地方発祥の魚介を水で煮込むイタリア料理です。魚介類から出るうまみとオリーブオイルの風味が一体となった、豪快かつ繊細な味わいが特徴です。使用する魚は、タイ、サワラ、タラ、スズキ、メバル、サケ、など白身で身が締まっている魚がおすすめです。

失敗しないコツとしては、魚を煮る前に、皮目をパリッと焼き付けることです。これだけで生臭さが消え、香ばしさがスープに移って格段においしくなります。



魚の煮崩れを防止するために、水や酒を入れたあとは極力触らないようにしましょう。

材料（2人分）

白身魚の切り身 …… 2切れ
塩 …… 少々
アサリ（砂抜きしたもの） …… 150g
ミニトマト …… 8個（80g）
ブロッコリー …… 70g（3房くらい）
にんにくチューブ …… 3cm
オリーブオイル …… 大さじ1
酒 …… 50ml
水 …… 100ml

作り方

- 1 魚に塩をふり 10分ほど置いておく。ブロッコリーは食べやすい大きさに分ける。
- 2 魚からしみ出た水分をペーパータオルで拭き取る。
- 3 フライパンにクッキングシートを敷き、にんにく、オリーブオイルを入れて熱し、香りが出てきたら、白身魚の皮目を下にして焼く。
- 4 両面に焼き色がついたらクッキングシートを取り除き、アサリ、酒、水を加えフタをし、弱めの中火で蒸し焼きにする。
- 5 アサリが開いたら、火を弱め、ブロッコリーを加え、ブロッコリーが柔らかくなったらミニトマトを加えて、1～2分煮れば完成！

3月の健康カレンダー

町民みなさんのイベント

● 献血

日時：3月13日（金）午前10時～11時30分

場所：海山公民館

○男性 17～69歳、女性 18～69歳（ただし65歳以上の方は60～64歳の間に献血経験がある方）

○男女とも体重 50kg以上の方

※その他の基準についてはお問い合わせください。



お子さまのイベント

● すくすく子育て相談

日時：3月18日（水）午前10時～11時

（受付は10時30分まで）

場所：東長島公民館2階

申し込み：不要

内容：子育てに関する各種相談、身体計測

持ち物：母子健康手帳



紀北医師会・紀北薬剤師会休日診療当番表

月日	曜日	病院名・薬局名	電 話
3/8	日	かとう小児科 ココカラファイン薬局 紀伊長島店	Tel 47-3341
3/22	日		Tel 46-2062

※上記以外は、尾鷲総合病院にご確認ください。

診療時間 午前9時～午後5時

※受診希望の方は、事前に電話でご連絡ください。

※日程や時間は変更がある場合がありますのでご注意ください。

●詳しくは、救急医療情報センター

（Tel 059-229-1199）にお問い合わせください。



救急診療

●長島回生病院では、通常の診療時間外や休日に、急な病気などでお困りの方の診療を行っています。救急診療をご希望の方はご連絡ください。

（Tel 47-1651）

こころの健康相談

日時・場所
ご相談に応じます。

対象
こころの健康に関する悩みを持つ方やご家族など



【問い合わせ】けんこうの広場に関する問い合わせ、申し込みは本庁福祉保健課（Tel 46-3122）までお願いします。



海山図書室から

● 今月のピックアップ本

「図書名」 / 著者名

■ 一般図書

- 「風を織る 針と剣縫箔屋事件帖」 / あさのあつこ
- 「神の蝶、舞う果て」 / 上橋菜穂子
- 「命の横どり」 / 久坂部羊
- 「ハヤディール戀記 (上・下)」 / 町田そのこ
- 「あの人と、あのとき、食べた。」 / 榎野道流
- 「今さら聞けない副業の超基本」 / 大村信夫 榎村周磨
- 「私のなかの希死念慮ちゃん 精神科医が教える『死にたい』との付き合い方」 / 芳賀高浩
- 「花より漫画」 / 神尾葉子

■ 児童図書

- 「あま」 / 小寺めぐみ 小寺まなみ
- 「いつつごうさぎとはなのゆうえんち」 / まつおりかこ
- 「身近な危険のサバイバル」 / 韓賢東

紀伊長島図書室から

● 今月のピックアップ本

「図書名」 / 著者名

■ 一般図書

- 「豊臣家の女たち」 / 福田千鶴
- 「親の介護で知りたいことが全部のってる本」 / 鉦裕和
- 「収納上手のインテリア 押入れ」 / 成美堂出版編集部
- 「平野レミ大百花」 / 平野レミ
- 「最後の皇帝と謎解きを」 / 犬丸幸平
- 「ヤモリさんとご褒美 れんげ荘物語」 / 群ようこ
- 「分水 隠蔽捜査 11」 / 今野敏

■ 児童図書

- 「おともだちえほん はじめての『よのなかルールブック』」
/ 高濱正伸
- 「もぐらけんせつ あなぐましまいのドーナツトンネル」
/ 長崎真悟
- 「さくらちゃんのかえりみち」 / かさいまり

● 海山図書室・紀伊長島図書室

【開室時間】 火～金曜日 / 午前9時～午後6時 土・日曜日 / 午前9時～午後5時
 【休室日】 月曜日、祝日、年末年始 (12月29日～翌年1月3日)
 【問い合わせ】 海山図書室 Tel 32-3915 紀伊長島図書室 Tel 47-3906

※土・日曜日の正午～午後1時は閉室となります。



本・雑誌リサイクルのおしらせ

3月14日(土) 午前9時から除籍本と保存期間を過ぎた『サライ』『NHKテレビテキスト』などの雑誌を無料でお渡しします。なくなりしだい終了とさせていただきます。
 開催場所：海山図書室、紀伊長島図書室



パソコン教室受講生募集

ペイントで簡単デザイン (お絵かき) にチャレンジしましょう

対象

町内在住または町内に勤務している方

募集期間 3月10日(火) まで

会場・日時

● 生涯学習センター

3月25日(水) 午後1時30分～

26日(木) 午前9時30分～

● 東長島公民館

3月27日(金) 午後1時30分～

【問い合わせ・申し込み】

生涯学習センター Tel 32-3915 教育委員会本庁生涯学習課 Tel 46-3125



「よみきかせの会」

日時 3月14日(土)
午前11時～

場所 海山図書室

てあそびやわらべうたを交えて、おおきくなること、成長することを喜べる絵本などを読み聞かせします♪



戸籍の窓

【令和8年1月1日～31日受付分】

(敬称略)

本人または、親族の方の了承を得て掲載しています。



住所 東長島 矢口浦
 子の名前 大野 湊 瞬
 保護者 羽海 紗季

お誕生おめでとう

住所氏名	(年齢)	住所氏名	(年齢)	住所氏名	(年齢)	住所氏名	(年齢)	住所氏名	(年齢)
島原平野 克子	(91歳)	長島東 隆一	(77歳)	大原橋倉 普	(94歳)	中里疇地 英雄	(90歳)	相賀氏家 稔之	(67歳)
引本浦 野中みな子	(77歳)	相賀岸 十人	(94歳)	矢口浦 沢田 浩	(65歳)	相賀 栗山ふさの	(96歳)	上里 植松 国彦	(67歳)

ご冥福を祈ります

無料法律相談 (予約制)

弁護士による無料法律相談を次のとおり2会場にて開催します。困り事、争い事の法律的なご相談をお受けします。秘密は厳守します。お気軽にご相談ください。

日程	時間	場所
3月 18日(水)	午前10時30分～正午	社会福祉会館 1階
	午後1時～2時	
	午後2時30分～5時	生涯学習センター 2階

※相談時間は1名30分以内で、定員は各場所5名です。相談を希望される方は、前日までにご予約をお願いします。

※同一内容での相談は原則1回限りです。

※キャンセルされる場合は前日までにご連絡ください。

※紀北町を訴訟相手とする場合、相談内容が訴訟中で、現在裁判所で審理中の場合、当事者間に係争がある場合の双方同時の相談は原則として利用できません。

【問い合わせ・申し込み】

本庁住民課 TEL46-3117



普通救命講習

心肺蘇生法とAEDの取り扱いを習って、もしものときに備えましょう。

日時 3月9日(月) 午後1時～4時

場所 海山消防署

※申し込みは前日までにお願いします。

【問い合わせ・申し込み】

海山消防署 TEL33-1119



善意をありがとう

【令和8年1月1日～31日受付分】

(敬称略)

紀北町社会福祉協議会へ

長島 長井 裕之	二万円
長島 湊 伸彦	三万円
白浦 永田 成臣	三万円





広報

きほく

2026.3
No.245

(令和8年2月1日現在)※外国人を含む
■人口: 13,396人 ■世帯数: 7,528世帯
■男: 6,363人 ■女: 7,033人

編集・発行 千519-3292 三重県北牟婁郡紀北町東長島769番地1
紀北町企画課 (直通) TEL 0597 (46) 3113 (直通) FAX 0597 (47) 5908
https://www.town.mie-kihoku.jp/ E-mail kikaku@town.mie-kihoku.jp



満1歳笑顔 にじいろスマイル

「にじいろスマイル」のコーナーに掲載希望の方は、
誕生月の前月の10日までにお申し込みください。



申し込みはこちらから

🍰 令和7年3月4日生まれ



ちはる
上村 央晴くん

ちーくん1歳のお誕生日おめでとう♡
にいに負けんと頑張れー!

<小山浦>涼・葉月さん

🍰 令和7年3月17日生まれ



ゆい
村島 結衣ちゃん

お兄ちゃんが大好きなゆいちゃん♡
今年も笑顔いっぱい的一年にしようね♡

<相賀>大斗・美月さん

やっぱりええやん! きほく



城腰紅梅

鮮やかな濃い紅色が特徴で、樹齢約300年と伝わる長楽寺の「城腰紅梅」が、今年も静かに花開きました。寒空の下で灯った温かな色が、見る人の心を和ませ、町に一足早い春の訪れを優しく告げていました。

